

平成25年度第4回移動市長室会議録

(平成25年 7月30日)

1 日 時：平成25年 7月30日（火）、14時～15時40分

2 場 所：光が丘公民館

3 出席者：

『光が丘区』

中山区長、ひかりつうがく合宿実行委員、ひかりつうがく合宿参加児童、
ひかりつうがく合宿参加児童保護者（25人）

『筑紫野市』

藤田市長、飯笹総務部長、北橋市民生活部長、森総務課長、濱崎総務担当係長、
市川生涯学習課長、渡辺生涯学習課主任、榑木戦略企画担当係長、
榑木秘書広報課長、日野広報広聴担当係長、松隈秘書広報課主任

4 内容：団体の現状と課題などについての懇談

○（事務局） 皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、皆さんには大変貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。また、子供たちの皆さんも、夏休みでやりたいことがたくさんあるなか、今日は集まっていたいてありがとうございます。

ただいまから、平成25年度第4回の移動市長室を始めさせていただきます。本日司会進行を務めさせていただきます、秘書広報課の楢木と申します。

移動市長室は、平成23年8月から数えまして、今回で通算24回目の開催となります。本日のために中山区長を初めといたしまして、児童、保護者の皆さん、それから実行委員の皆様には、いろいろと御準備をいただき、ありがとうございます。

本日の懇談は、お手元の次第のとおりに進めさせていただきます。この後、藤田市長の御挨拶、中山区長の御挨拶、出席者の自己紹介、そして懇談、要望事項、さらに藤田市長による光が丘に関連します平成25年度の主な市の事業、施策の御紹介、最後にお礼の挨拶の順でまいります。

懇談は、ひかりつうがく合宿の活動内容につきまして御説明をお願いいたします。説明が終わりましたら、少し休憩をとりまして、児童の皆さんと藤田市長との直接の懇談会、意見交換会を行います。司会を手嶋君と大津君の両名をお願いしております。よろしくをお願いいたします。この懇談会が終了しましたら、児童の皆さんは一旦解散とさせていただきます。

続きまして、残っていただきました大人の方から、市への要望事項をお伺いし、藤田市長が回答をさせていただきます。全ての行事が終わりますのが、予定時刻をおおむね3時40分としております。

本日の懇談内容は、議事録を作成いたしまして公表させていただきます。また、お撮りしました写真は、市の広報紙、ホームページに掲載をさせていただきますので、御了解をお願いいたします。有意義な懇談会となりますよう、よろしくお願いいたします。

では、藤田市長が皆様に御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さん、こんにちは。小学生の皆さん、今日は出席ありがとうございます。また、中山区長さん、黒葛原さん、鳥井脇公民館長初め、ひかりつうがく合宿実行委員の皆さん、また保護者の皆さんこんにちは。今日は、平成25年度4回目の移動市長室、通算24回目の移動市長室でございます。今回は初めて子供さんたちを交えての移動市長室となります。非常に楽しみにしておるところでございます。

本年度は、特色のある取り組みなどを行っている地域の方のお話を伺いするために、行

政区を中心に実施していく予定でございます。その中で、本日、光が丘の皆さんと懇談をさせていただくことになりましたことを大変うれしく思っております。

光が丘区は昭和40年代の福岡都市圏内の人口急増に伴い計画された、小郡・筑紫野ニュータウンの一面として、昭和58年から平成5年に実施された隈・西小田土地区画整理事業により計画的に開発されました。

開発の際に発掘調査した遺跡群から見つかった、約2000年前の銅剣や貝殻製の腕輪などは、国の重要文化財に指定されており、市の歴史博物館に収蔵されております。

開発から20年余りが経過し、多くの方が生活されている光が丘区でございますが、中山区長さんを中心に、自治会などの皆さんには、住みやすい、安全安心な住環境をつくるために、日々御尽力をいただいておりますことに感謝いたしているところでございます。

光が丘区では、平成23年度、平成24年度に引き続き、3回目の通学合宿が先日終了したばかりでございますが、中山区長さん初め子供たちの活動を通じての思いや課題などをしっかりお聞きしながら懇談をさせていただきたいと考えております。

どうぞ、最後までよろしく願い申し上げまして、御挨拶にかえさせていただきます。

○（事務局） 続きまして、中山区長、どうぞよろしくお願いいたします。

○（中山区長） 市長が言っておられますように、今年度から行政区への移動市長室が始まるとのことでしたので、手を上げさせていただいて、本日、光が丘での開催となりました。

準備などでいろいろ皆さんには御苦労かけましたけども、今日行政の方々とともに、いろいろな忌憚ない御意見を交わしていただいて、また、子供たちとの意見交換というものも初めてのようでございますので、ぜひ有意義な移動市長室となりますことを期待いたしまして、御挨拶にかえさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いします。

○（事務局） 中山区長、ありがとうございました。

続きまして、出席者の自己紹介を行いたいと思います。まず、行政側からまいります。私、秘書広報課の楢木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○（飯笹総務部長） 総務部長の飯笹と申します。今日は、皆さんのお話を聞けることを楽しみにまいりました。どうぞよろしくお願いします。

○（北橋市民生活部長） 市民生活部長の北橋と申します。限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○（事務局） そのほか、総務課、生涯学習課、戦略企画課、秘書広報課から関係職員がまいてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは今度は、光が丘区の皆さんにお願いしたいと思います。まず、子供のみんなからお願いします。手嶋君から、学年と名前をおしえてください。

- （小学生） 6年生の手嶋瑛司です、よろしくお願いします。
- （小学生） 5年生の甲田理子です、よろしくお願いします。
- （小学生） 5年生の清水祐希です、よろしくお願いします。
- （小学生） 3年生の遠藤己理可です、よろしくお願いします。
- （小学生） 2年生の平原紀隆です、よろしくお願いします。
- （小学生） 5年生の津留千那歩です、よろしくお願いします。
- （小学生） 4年生の田中陽基です、よろしくお願いします。
- （小学生） 2年生の小嶋寅ノ介です、よろしくお願いします。
- （小学生） 1年生の遠藤玲桜奈です、よろしくお願いします。
- （小学生） 5年生の大津凌介です、よろしくお願いします。
- （小学生） 5年生の石原未鈴です、よろしくお願いします。
- （小学生） 4年生の丸目響生です、よろしくお願いします。
- （小学生） 5年生の山本啓介です、よろしくお願いします。
- （小学生） 4年生の大坪優太です、よろしくお願いします。
- （小学生） 4年生の清水皓平です、よろしくお願いします。
- （小学生） 3年生の甲田結子です、よろしくお願いします。
- （小学生） 2年生の大坪こころです、よろしくお願いします。
- （事務局） ありがとうございました。続きまして実行委員の皆さんよろしくお願いします。
- （実行委員） 公民館長を務めております、鳥井脇と申します。よろしくお願いします。
- （実行委員） 自治会会計を担当しております、鯨坂と申します。よろしくお願いします。
- （実行委員） 町内会長をやっております、林でございます。
- （実行委員） 熟年の会会長をしております、森山です。熟年の会とは、光が丘の老人クラブですが、正直言って若い方が多い老人クラブですから、熟年の会と称しております。よろしくお願いします。
- （実行委員） 広報を担当しております音成と申します。よろしくお願いします。
- （実行委員） 防犯ボランティアの末崎と申します。光が丘防犯ボランティアとして平成11年から活動しております。よろしくお願いいたします。

- （実行委員） 民生委員・児童委員の神本と申します。よろしくお願いいたします。
- （実行委員） レディース会の尾上でございます。よろしくお願いいたします。
- （実行委員） レディース会の会長を務めております、小林朗子と申します。よろしくお願いいたします。
- （実行委員） 民生委員・児童委員の今石と申します。よろしくお願いいたします。
- （実行委員） 光が丘公民館の主事をしております、志田と言います。よろしくお願いいたします。
- （実行委員） 実行委員をしております、黒葛原です。
- （中山区長） 光が丘区長の中山と申します。よろしくお願いいたします。
- （事務局） ありがとうございます。続きまして、保護者の皆さんお願いいたします。
- （保護者） 5年生の山本啓介の母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 5年生の津留千那歩の父です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 5年生の甲田理子と3年生の甲田結子の母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 2年生の平原紀隆の母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 4年生の丸目響生の母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 4年生の大坪優太、2年生の大坪こころの母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 5年生の大津凌介の母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 3年生の遠藤己理可と1年生の遠藤玲桜奈の母です。よろしくお願いいたします。
- （保護者） 4年生の清水皓平の母です。よろしくお願いいたします。
- （事務局） どうもありがとうございました。

それでは、ただいまから懇談に入ってまいりたいと思います。最初に、ひかりつうがく合宿の活動内容につきましてお話をお願いいたします。

- （中山区長） それでは、ひかりつうがく合宿の取り組みについて説明をさせていただきます。

通学合宿は、1983年に庄内町（現飯塚市）で子供たちが家族から離れ、共同生活をしながら、登下校し、仲間と協力しながらお互いの立場を理解し合う心をはぐくむことを目的に始まりました。

通学合宿の効果としては、体験活動を通じた異年齢の交流により、子供は生活習慣の定着、労働や協力することの理解、責任を果たすことで自尊感情を高めることができ、また自主性、協調性の向上につながります。

地域にとっては、子供たちとの触れ合いの場づくり、地域住民の能力活用の場づくり、子供を地域で育てようとする機運の高揚を図ることができます。地域コミュニティ、教育力の構築となり、町の活性化へとつながります。

筑紫野市生涯学習課の青少年事業の一つとして、通学合宿が実施されています。筑紫野市の通学合宿への取り組みは、平成21年度に武蔵地区で始まり、平成22年度には、岡田、美しが丘北区で実施され、平成23年度から、光が丘区と山家区で3年連続実施されました。

ひかりつうがく合宿実施のきっかけは、少子高齢化が進む中、地域コミュニティ力の低下が見られ、高齢化も進んでおり、平成22年度は75歳以上の方が153人だったのが平成24年度は188人と、23%も増加をしております。一方子供の数は、筑紫東小学校児童414人の中で、141人が光が丘の児童でございます。

光が丘の自治会組織は、自治会長、副会長、会計、公民館長専任のほか、町内会長が10名、隣組長が113名います。輪番制のため、町内会長、隣組長が毎年変わることが問題点ではあります。

福岡都市圏のベッドタウンとして開発された新興住宅地のため、大多数の住民が外部からの転居者であり、昔からの住民は少ない状況にあります。地域のつながりが希薄化しつつあります。この希薄になりつつある家庭、地域、学校の連帯力の回復と、地域コミュニティ力、地域教育力の活性化のため、明るく楽しい、安心・安全な住みよい光が丘のまちづくりのため、自治会活動の一つとして通学合宿に取り組みました。

4月初旬の自治会総会で、自治会行事の一つとして承認され、各種団体へ事業説明をし、各種団体から実行委員を選出し、4月下旬に実行委員会を立ち上げました。ひかりつうがく合宿実行委員会の構成員は、実行委員長を自治会長、副実行委員長を副自治会長と公民館長にお願いし、会計は自治会会計と防犯協議会会計にお願いしております。総務は、熟年の会会長、広報を23年度町内会長、生活指導を民生委員の方々、食事指導をレディース会会長ほかレディース会の方々、アドバイザーとして民生委員や公民館主事にお願いしております。

ひかりつうがく合宿組織図としましては、実行委員会のメンバーをそれぞれの役割り分担ごとにリーダーをやってもらいました。平成25年度は、初めて参加者の保護者が公民館の留守番役をしていただきました。この間、実行委員は、入浴をしたり、休眠をとったりでき、大変ありがたかったです。

同じ志を持つ人材の発掘を目的に、各団体へ支援協力依頼、地域ボランティアの要請、学校子供会育成会への呼び掛け、自治会役員への協力依頼を行いました。今年は、町内会長さんの多数の協力を得ることができました。

まちづくりは人づくり、子供は地域の財産であり、地域で見守り育てていきたいという思いから子供の居場所づくりの一つとして、ひかりつうがく合宿を設けてきました。初年度は13人、2年目は14人、今年3年目は20人の応募をいただきました。

それでは、先日実施した、ひかりつうがく合宿の様をごらんください。

6月9日に実施しました、保護者・参加者説明会の様子でございます。参加児童一人一人が目標を立てました。

6月15日土曜日、6月22日土曜日に開かれました、子ども会議の様です。班分け、班名の決定、タイムスケジュール決め、朝食夕食のメニュー決め等を行いました。子ども会議では、ボランティアさんも毎日の食事の分担も決めていただくと同時に、自分たちでもどういものが食べたいという形でメニューづくりもやっております。目標、1週間の予定、時間割り等をみんなで決めました。

6月16日日曜日、ボランティア会議を開催いたしました。通学合宿の説明のほか、ボランティアの役割確認をしていただきました。同時に分担を決め、役割ごとに分かれて話し合いをしていただきました。

子供たちが快適な合宿ができるように、随所に工夫がありました。ボランティアの一人、実行委員の会計さんがつくってくれた持ち物整理箱、ボランティア名札、物干し場、当番早見表等々、年々工夫がされてきました。

開講式です。みんなで1週間取り組むよう、たくさんの経験ができるよう、私たちも願っていました。

自分たちで食事を頑張ってつくりました。ボランティアさんと一緒に買い出しへ行きました。スーパーマーケットが近くにあり、買い物には便利でした。みんなで食事をします。

自分たちで、洗濯、整理整頓をしております。勉強も頑張りました。最終日には1週間ともに頑張った仲間との記念に「ホログラム万華鏡」作りをしました。

筑紫東小学校長先生がお見えになったときに御挨拶の中で、笑顔を絶やさない通学合宿にしてほしいということをおっしゃいましたが、皆さん子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。

ひかりつうがく合宿に関わっていただいた皆さんお疲れさまでした。そして子供たちも

お疲れさまでした。いろいろ手をわずらわすことも、大変なこともたくさんありましたが、子供の笑顔がその疲れを忘れさせてくれました。このことが地域つなぐきっかけになることを、実行委員一同願ってやみません。

御清聴ありがとうございました。

○（事務局） 中山区長さんどうもありがとうございました。

子供たち、保護者、そして実行委員の皆さん方の、熱い思いが今回のひかりつうがく合宿の成功につながったということがよくわかりました。子供は地域の財産として大切にされているということが、ひしひしと伝わってくるようでした。

ひかりつうがく合宿について一通り見せていただいたところでございますけども、その陰には実行委員さんのいろいろな御苦勞があったのではないかなと思います。そういった大変だったところ、苦勞したところ、終わっての感想などを、ぜひお聞かせいただきたいと思います。森山さん、いかがでございますか。

○（実行委員） 実行委員の中で総務を担当しました。まず、通学合宿の開校式から閉校式までの1週間の大まかな流れを作りました。それを実行委員に説明しましたところ、ほんとにそれぞれに担当分野で細かい計画をつくっていただきました。夜間に実行委員の会議をすることもあり、いろいろ議論できまして、そのこともよかったと思います。

1週間計画どおりに、変更なく進めることができましたので、私の仕事は果たせたんじゃないかというふうに思っています。細かいことを言えば、擦り傷をつくったりなどありましたけども、1件の事故もなく最後まで終わったことは、本当にうれしかったです。

実行委員の皆さん、いろいろ迷惑かけたと思いますけども、ご協力ありがとうございました。防犯、警備のために夜は公民館についてもらいまして、毎日、買い物や登下校の迎えもやってもらいました。だけど、森山さんが計画したとおりにやっていいよと、おっしゃっていただいて、本当にひかりつうがく合宿をやってよかったと思いました。皆さんに感謝しています。ありがとうございました。

○（事務局） 続きまして同じ質問です。実際に関わってみて大変だったところ、きつかったところ、よかったと思ったところを、神本さん、お願いします。

○（実行委員） 私は、生活指導というかたちで関わったんですけれども、1回目の通学合宿から参加しており、子供たちとどういうふうに接したらいいかというのを最初からずっと悩んでいます。素直に言うことを聞いて従ってくれる子供と、何回言っても聞いてくれない子がいますので、時には結構厳しく指導することもありました。

でも、そういうつながりの中で、一日一日子供たちとも、自分の中では、心通っていったんじゃないかなって思いますし、もっといろいろ言っておけば良かったとも思いますけれども、関わった中で、私自身もちょっと成長したかなと感じました。すごく楽しい1週間でした。ありがとうございました。

○（事務局） それでは、今度は保護者の方に質問したいと思います。

大事なお子さんを1週間外泊させるわけですが、いくら、近くの公民館にいるからといいますが、1週間外泊することはなかなかない機会ではないかなと思います。お子さんがいなくなってどのように思われたでしょうか。そして、1週間後にお子さんが、ひかりつうがく合宿を終えて帰ってこられたときに、どのように変化して帰ってこられたでしょうか。甲田さん、代表してお願いいたします。

○（保護者） 1週間も子供がいなくなると、普段は騒がしいと思うこともあるんですけども、急に家の中が静かになるので、ちょっと寂しいなという思いもありました。また、これから子供たちとどういうふうに接していこうかといった、自分の気持ちを整理することができたかなと思います。

通学合宿から帰ってくると、食事が終わったら自分のお皿を片付けたりすることもあり、通学合宿のおかげかなと思います。1週間お世話になりました。

○（事務局） ありがとうございました。貴重な話をお伺いすることができました。

以上をもちまして、ひかりつうがく合宿の活動状況について終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

ここで5分程度休憩をとりまして、休憩ののちに子供と市長との意見交換会を始めたいと思います。

～【休憩】～

○（事務局） では、ただいまから懇談会を再開いたします。

今から、児童の皆さんと藤田市長の懇談会、意見交換会を行います。筑紫野市の好きなところ、嫌いなところ、こんなふうだったらいい筑紫野市、市長に聞いてみたいことをテーマに意見交換会をしていただきます。たくさん質問や意見、思っていることを言っていただきたいと思います。それでは、司会役の手嶋君、大津君よろしく申し上げます。

○（小学生） まず、みんなの筑紫野市の好きなところや嫌いなところを発表します。

○（藤田市長） よろしくお願ひします。

○（小学生） 好きなところは、緑が多いこと、山が見えて自然がいっぱいあること、温泉があること、歴史が深いこと、山のほうにキャンプ場があること、あんまり事故がないところ、イベントがたくさんあること、優しい人が多いこと、公園がきれいなこと、通学合宿があるところ、地域の人が環境を守ろうとして心が深まっているところ、自分の家の前に公園があるところ、公園がとても広いところ、学校が好きです。

嫌いなところは、夏休み中の学校のプールの時間が短い、駅が遠いことです。

○（小学生） 次に、筑紫野市がこんなふうだったらいいなと思うことを言います。

○（小学生） 市長さんをお願いしたいことは、筑紫野市に市民プールをつくってほしい。ボール専用の空き地をつくってほしい。大きな子が遊べる公園に遊具をふやしてほしい。公園の遊具が壊れているので直してほしい。通学合宿がすごく楽しかったので、継続して実施できるようにお願いします。いじめのなくなる方法を考えてください。午後1時ぐらいになると気温が34度を超えて勉強に集中できなくなるので、学校にエアコンをつけてほしい。

○（藤田市長） 皆さんからたくさん質問が出ていますが、市長さんはとても緊張しています。皆さん方の質問に答えられるかわかりませんが、まず、市民プールをつくってほしいというのがありましたよね。

私も市民プールをつくりたいと思っています。でも、平成23年3月に東日本大震災が起きましたよね。私が市長になってすぐにあの震災がありました。市長として、子供たちが安心して学校に行けるように、耐震化、つまり地震に強くする工事をしようと思いました。私が市長になる前から学校の耐震化が行われていましたが、それを進めて、この前、小学校と中学校の全部の耐震化が終わりました。皆さんが学校で勉強しているときに地震がきても、校舎は崩れません。

学校の工事はすみましたが、ほかにも災害に備えないといけません。たとえば、市役所はできて70年ぐらい経っている部分があります。市役所は市民の皆さんの安全・安心を守る拠点なので、そろそろ建て直したほうがいいと思います。こういった、補強したり、建て直したりしないといけない工事がまだまだあるので、市民プールを作るのはその後になってしまいます。

それから、ボール専用の空き地をつくってほしいって質問したよね。ボール専用の広場をつくるのは難しいけれど、今、原田のクリーンヒル宝満というごみを燃やしている建物

の隣に、上原田公園という広い公園をつくっています。そこには、広いグラウンドもあるので、ボールを蹴ったり、いろいろ遊んだりすることができますと思います。10月1日に開園するので、ぜひ遊びに行ってみてください。

それから、公園に遊具を増やしてほしいって言ったよね。公園の遊具、ブランコなどの設置は、もちろん子供たちの願いだから聞いてあげたいけれど、遊具を減らして広場を広くしてほしいという人もいて、いろいろな考えがあるので、まずは区長さんをお願いしてもらって、地域のみなさんで話し合ってください。話し合っ、遊具が必要だという意見になったら、市役所に言ってください。そしてから、遊具を増やすかどうかを考えますね。

それから、公園の遊具が壊れているところについては、すぐに調べますので、後で具体的な場所を教えてください。

通学合宿がすごく楽しかったというのは、とてもよかった。さっき中山区長さんや実行委員の方々が話されたように、すごく楽しくてすごくためになることなんだけど、市から補助ができるのが2年間なんです。光が丘区は3年間やっており、1年目のときは県が、2、3年目は市が補助しました。市としては、いろいろな地域で通学合宿をやってほしいので、補助については別の地域を優先することになりますが、また来年も続けていくということになれば、市も協力していきたいと思っています。しかしこれも、なかなか大変なことなので、参加する皆さん方も大変でしょうけど、保護者や実行委員の皆さんもほんとに大変なことなので、これはよく地元で話し合っ、続けるか続けないかを考えてくださいね。

いじめがなくなる方法を考えてくださいということですけど、学校の中のいじめ対策のための指導員やスクールソーシャルワーカーといった、学校で問題がおきたときに、いろいろと指導してくれる人の人数をふやして、いじめがなくなるように努力しています。

そして、いじめは、やっぱりいじめられている人を横で見ないふりするようなことがないように、いじめる人はいかんって言い切るぐらいの勇気をもってほしい。そういうふうな自分づくりも必要ではないかなと思う。ちっちゃい子がいじめられていたら、いじめたらいかんよって上級生が言ってくれるといじめはとまると思うので、そんなことも考えてもらったらうれしいな。よろしくお願いします。

それから、学校にエアコンをつけてほしいということですが、2年前、私が市長になった年の5月ぐらいに、扇風機を教室に2台ずつぐらいつけました。でも、最近はとても暑

いので皆さんがエアコンをほしいという気持ちはわかるんですが、今のところ扇風機で我慢してもらっています。ただ、これからさらに気候がどう変化していくかわかりませんので、どうするか考えていきたいと思っています。

そういえば、夏休みのプールの期間が短いつて言った人がいたね。今は8月のお盆前ぐらいまで開放しているけど、むかしは8月下旬ぐらいまでやっていた。でも、お盆が過ぎるとものすごく利用者が少なくなっていたので、PTAにアンケートをとったら、ほとんどの小学校が期間を短くしていいということだったので、今の期間になりました。

ほかに何かありますか。

○（小学生） 次は、市長さんに聞いてみたいことです。

○（小学生） 市長さんのお仕事は、どんなお仕事ですか。

○（藤田市長） 筑紫野市を良くするために、いろんな目標や計画を立てて、実行していく仕事です。たとえば、皆さんが学校に行って楽しく勉強ができるような学校の施設や運動場をつくっていくことも市長のお仕事です。

それから、市を代表していろんな行事や会議に出席しています。そうことをやりながら、筑紫野市が、住みたい、住み続けたいと言ってくれる人がたくさんできるようなまちづくりを進めています。

○（小学生） 市長さんは、どこで仕事をしていますか。

○（藤田市長） 市役所の中に市長の部屋があるので、いつもはそこで仕事をしていますけど、いろんな行事に出ないといけないので、福岡に行ったり、久留米に行ったり、出かけて行って仕事をすることも多いです。

○（小学生） ニンクのみじん切りは得意ですか。

○（藤田市長） ニンクのみじん切り、したことありません。（笑声）君は、やったりするの、それ。

○（小学生） やりません。

○（藤田市長） やらないんだ（笑声）。急にくださった質問だったから、びっくりした。

○（小学生） いつも、洋服ってどんな洋服着るんですか。

○（藤田市長） 今着ているようなスーツが多いです。こんなのを着ています。

○（小学生） 和食と洋食はどちらが好きですか。

○（藤田市長） 和食です。ちなみに、君はどっちが好き。

○（小学生） 洋食です。

- （藤田市長） 意見がわかれたね。（笑声）
- （小学生） 市長さんは、テレビに出るんですか。
- （藤田市長） テレビはあんまり出ないけど、ケーブルテレビはよく取材に来てくれます。
- （小学生） どうして市長になろうと思ったんですか。
- （藤田市長） 筑紫野市の市議会議員になって、それから県議会議員になって、県に20年ぐらい勤めたんですが、筑紫野市をもっと活気のある市にしたい、もっと生き生きとした市にしてみたいと思いました。皆さんもわかっているように、筑紫野市といったらものすごい歴史があって、文化があって、とても広くて、自然があって、いいところなんです。大きな道路もたくさんあって、そういうところだから、もっと元気のある市になるんじゃないかなと思えたので、自分のふるさとでまちづくりをしようと思って、市長になりました。
- （小学生） どのくらい市長さんはお金を持ってるんですか。（笑声）
- （藤田市長） 毎年、資産報告というのがあって、市長は幾らお金を持っているかななどを報告しないといけないのですが、調べてみると銀行の中に4500万円ぐらいあります。
- （小学生） 仕事するときマイクはあるんですか。
- （藤田市長） マイクがあるのはね、議会や大きな会議のとき、あと行事の挨拶をするときぐらいです。普通仕事するときはありません。
- （小学生） 人の命を救ったことはありますか。
- （藤田市長） そうですね、僕は小学4年生のときにプールでおぼれている人を助けたことがあって、表彰されたことが記憶にあります。
- ほかに何かありませんか。皆さん方のほうからどうぞ質問してください。
- （小学生） では、これで終わります。
- （事務局） 皆さん、どうもありがとうございました。
- （小学生） はい。
- （藤田市長） どうも、ありがとうございました。
- （事務局） 児童の皆さんはここで一旦解散とさせていただきます。このあとも移動市長室は続きますが、児童の皆さん方は2階の会議室を控室として用意していますので、どうぞそちらのほうで休憩したり、遊んでいただきたいと思います。残って話を聞きたいという人は、残っていただいて結構です。

～【子供退場】～

○（事務局） 再開いたします。

それでは、要望事項について中山区長さん、よろしく申し上げます。

○（中山区長） 隈公園の利用者は日陰が少なく苦慮しております。公園の利用者は、グランドゴルフ等をやっている高齢者が多く、また、今あるベンチには屋根などがついていません。ついては、日よけのついた、屋根付きのベンチの設置をお願いします。

○（事務局） ありがとうございます。

中山区長から、隈公園に屋根付きのベンチを設置してほしいという要望でございます。それに対しまして、藤田市長が回答を申し上げさせていただきます。

○（藤田市長） 先ほどから、子供さんと一緒に移動市長室を進めさせていただいておるわけですが、非常に活発で元気があって、素晴らしい子供たちに成長していることが、喜ばしく思いました。

さて、隈公園ですが、去年だけで486件もの団体利用があり、非常に多くの方に利用いただいております。中山区長さんが言われるのはもっともだと思っておりますが、屋根付きのベンチを設置するということになると、かなり高額な金額になります。しかし、幸い木が茂って木陰が結構ありますので、その下にベンチを設置することで休憩場所としてご利用いただければと考えております。よろしければ、担当課から連絡させていただき、詳細について協議させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○（中山区長） ありがとうございます。ぜひ、よろしく申し上げます。

○（事務局） ありがとうございます。隈公園にベンチの設置の件でございました。担当課からご連絡いたしますので、よろしく申し上げます。

○（中山区長） 住民の皆さん、なにか要望事項がありましたら、区長をとおした形でどんどん行政のほうに上げたらいいと思っておりますので、私のほうにいろいろと申し出いただければ、取捨選択したうえで行政のほうに上げていきたいと思っております。ぜひご協力のほどをお願いいたします。

○（事務局） それでは、最後に藤田市長が光が丘区に関する平成25年度の市の主な施策、事業について、スクリーンを使用しながら御説明をさせていただきます。

○（藤田市長） 平成25年度の予算、主な事業の中で、光が丘区に関係があるもの、また

その近隣での事業について少し話をさせていただいて、結びにさせていただきたいと思えます。

平成25年度の予算の概要でございます。この予算の中で、一番大きい割合なのが民生費で、子供や高齢者、障害者の福祉に使われているものでございまして、予算の38.2%を占めております。その額が約120億5000万円でございます。昨年と比べますと、生活保護事業費や介護給付費等、私立保育所運営委託料がふえています。

次が、土木費で、道路や公園などの補修や建設に使う予算です。約46億2000万円、全体の14.7%を占めています。JR二日駅地区整備事業、筑紫駅西口土地区画整備事業、筑紫公園整備事業、そして新たに実施する天拝公園周辺整備事業費が増額となっております。

次が、公債費でございまして、市の借金を返済するもので、本年度の予算が約34億4000万円、全体の10.8%を占めています。

それから、総務費でございます。行政の運営や戸籍、税金の徴収などに使われておりますが、予算額は32億円、全体の10.1%を占めています。

次が、衛生費。健康診断や予防接種、ごみ処理などに使われております。予算額が、約28億5000万円、全体の9%を占めているところでございます。

次が、教育費でございます。教育や文化、スポーツなどに使われます。予算額が約23億5000万円でございます。

最後に、その他でございますが、議会や農・商工業、消防などに使われる予算でございまして、約30億9000万円、全体の9.8%でございます。

一般会計の予算総額が、315億7100万円となっております。

それでは、次に光が丘区に関するものでございます。まず、光が丘区の成り立ちについて少し説明させていただきますが、皆さん方御承知のとおり、光が丘区は昭和40年代の福岡都市圏の人口急増に伴い計画され、小郡・筑紫野ニュータウンの一画として昭和58年から平成5年に実施をされた、隈・西小田土地区画整理事業により計画的に開発されました。この地区はもともと丘陵地でございまして、土地利用は半分が山林、残りが田畑の農地、家屋は数戸が点在するのみの土地でございましたが、区画整理事業によりまして、道路、公園などの公共施設が整備された住宅地、光が丘が生まれたわけでございます。

また、この工事に先立ち行われた文化財調査では、弥生時代の大規模な遺跡が見つかりました。さらに中国の前漢代の青銅鏡、青銅武器など国の重要文化財に指定されたものも

多数出土しているところでございます。

光が丘区に関係のある主な施策をいくつか申し上げます。

最初が、筑紫野市生活交通対策事業の筑紫野線運行補助金として、予算が750万円です。西鉄バスの廃止対象路線となった光が丘4丁目から筑紫駅西口までの筑紫野線について、補助金により生活交通手段のバス路線を確保いたします。

次に、児童福祉施設整備事業の予算額5748万8000円でございます。これは、福岡県子育て応援基金を活用して、保育施設の整備、今回はこの近くにあります光が丘幼稚園の増築に対する補助を行いまして、保育児童定数をふやすことで、待機児童を解消したいと思っています。

次に、小地区公民館設置補助金といたしまして、予算額は1188万6000円でございますが、行政区が行う小地区公民館の改修工事にかかる費用に対して補助を行い、今年度は光が丘公民館の照明をLEDにする改修工事が行われております。

次に、筑紫野市通学合宿事業、予算額は20万です。今年度も、平成23年、24年度に引き続き、光が丘区と山家区が実施をいたしました。この事業は、子供たちに学校の下校から登校までの共同生活の場を提供しながら、日常的な生活習慣を身につけさせます。子供たちが親元を離れ寝泊りをし、自分たちで掃除、洗濯、買い物をして、自分たちで調理したものを食べる。このようなことを経験することで、責任感や思いやり、感謝の心を身につけていくことと思っています。

次に、災害時の避難所充実といたしまして、予算額は764万3000円でございますが、第2次避難所であり、筑紫東小学校を含む各小学校に災害時の避難に備えて、リヤカーそれから車椅子、ガソリン缶、ライト、発電機、ラジオなど17品目の備品を設置いたしました。

次に、生徒指導総合推進事業といたしまして、予算額は、1852万7000円でございます。生徒指導のための心の教室相談員、不登校対策責任指導員、不登校生徒適応指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーといった人材を配置して、不登校対策などを強化します。筑紫野市の宝である子供たちを守ってまいります。

次は、近隣で実施されます事業について説明を申し上げます。

上原田公園整備事業として、今年度の予算額は9848万円でございます。クリーンヒル宝満の北側に現在整備してございまして、グラウンドや遊具、植栽、散策路など、6.3ヘクタールの公園を整備してございまして、10月1日にオープン予定ですので、光が丘区の皆

さんも憩いの場としてぜひ御利用くださいますようお願いしたいと思います。

そしてこれは、光が丘区だけではなく、市全体に関わることとなりますが、筑紫野市では、地域コミュニティの再編を進めております。市内を7つの区域に分けて、それぞれコミュニティセンターを拠点施設としながら、地域の中核となる自治組織をつくるというものです。本年度からはそれぞれの地域で各種団体を交えた学習会を開催していく予定でございます。ここ光が丘区は、筑紫南の地域に属することとなります。中山区長を初め、自治会の皆様にも、これからの町づくりに御協力をいただきますようお願いを申し上げます。

以上で、平成25年度予算、そして光が丘区とその近隣で実施する事業についての説明を終わらせていただきます。いろいろな事業がございますが、皆様方の御協力をお願いいたします。御清聴ありがとうございました。

さて、本日は大変お忙しい中に、長時間にわたりまして懇談をさせていただく機会を得ましたことを、心から御礼を申し上げます。

中山区長を初め、住民の皆さんが一体となって、光が丘区の子供たちを地域が主体となって育てていこうという意識の高さに非常に感銘を受けたところでございます。

また、子供たちの生き生きとして姿を拝見いたしまして、ひかりつうがく合宿が豊かな人間性をはぐくみ、子供たちの健やかな成長や仲間づくりに大きく貢献していることを、改めて確認させていただきました。

今日の懇談の中で出されました、思いや願いを真摯に受けとめ、解決のための取り組みを早期に進めていくとともに、未来を担う子供たちにも筑紫野市政をもっと身近に感じていただくための努力も必要であると認識を新たにしたところでもございます。

結びに、皆様方の御健康と今後ますますの御活躍を祈念いたしまして、お礼の挨拶とかがえさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

○（事務局） 以上をもちまして、本日の日程を全て終わらせていただきます。どうもありがとうございました。